



芸術の秋 慶應義塾のミュージアム 秋の展覧会

慶應義塾大学アート・センター

SHOW-CASE PROJECT Extra-3 富井大裕 像の条件

慶應義塾大学アート・センターは美術家・富井大裕と3年連続の展示プロジェクト「SHOW-CASE PROJECT Extra」を実施しています。第1回は、「モノコトの姿」と題して、富井らしい既製品を用いた作品と、石膏の造形が並置／対比されました。第2回「接点の都合」では、旧作も含めた定規を用いた作品を展示しました。「像の条件」と題された最終回はいかなる展開となるのでしょうか。小さな展示室から発信される、新しい「出来事」への挑戦をご覧ください。また、今回は、Extraシリーズのもととなった展示ケース一つの「SHOW-CASE project No. 5 像の単位」も併せて実施します。1個の展示ケース、1室の展示室にそれぞれ展開する展示は連携するのか対立するのか、その関係性にもご注目ください。



前回展「SHOW-CASE PROJECT Extra-2 富井大裕 接点の都合」展示風景©柳場大

会期 2026年10月5日(月)～12月18日(金)
[土日祝日は休館]
特別開館日 10月31日(土)、11月14日(土)
臨時休館日 11月2日(月)、11月16日(月)

会場 慶應義塾大学アート・センター
(三田キャンパス南別館 1階アート・スペース)

詳細 [URL http://www.art-c.keio.ac.jp/news-events/event-archive/motohiro_tomii_2026-2/](http://www.art-c.keio.ac.jp/news-events/event-archive/motohiro_tomii_2026-2/)



問い合わせ先 慶應義塾大学アート・センター
電話：03-5427-1621
E-mail：ac-tenji@adst.keio.ac.jp

KeMCo

KeMCo現代アート展 津田道子 からだの天気

「創造的な空き地」を掲げる KeMCo が、同時代のクリエイションとの接続を試みる現代アートの展覧会シリーズ。この秋に開催する第3回では、身体や映像を通して世界を認識する方法を探究してきた美術家・津田道子を迎えます。津田は近年、レクチャー・パフォーマンスのようなランニング・イベント「and run」を展開するなど、運動を軸に、身体感覚や知覚の在り方を探る芸術実践を続けています。走る・登る・潜るといった運動によって刻々と変化する「からだ」を起点に、身体と都市、地形や環境のあいだを行き来し、その重なりやゆらぎをめぐる本展覧会。新作を中心に構成される展示の機会を、ぜひお楽しみに。



参考作品:『so far, not far』よりスチル画像、2023©Michiko Tsuda Courtesy of TARO NASU photo by Yuji Oku

会期 2026年10月28日(水)～12月24日(木)
[土日祝日は休館]
特別開館日 10月31日(土)、11月28日(土)、
12月19日(土)
臨時休館日 11月30日(月)、12月14日(月)

会場 慶應義塾ミュージアム・コモンズ
(三田キャンパス 東別館)

詳細 [URL https://kemco.keio.ac.jp/all-post/20261028/](https://kemco.keio.ac.jp/all-post/20261028/)



問い合わせ先 慶應義塾ミュージアム・コモンズ
電話：03-5427-2021
E-mail：hello@kemco.keio.ac.jp

通知用メールアドレスの登録(必須化)と 多要素認証の導入(2027年3月)の お知らせ

慶應義塾大学では、保証人の皆さまに学業成績表のオンライン閲覧や学費関連情報の確認などのサービスを提供しています。今後、これらをより安全・便利にご利用いただくため、以下の対応を順次お願いする予定です。

- ・通知用メールアドレスの登録(必須化): ご登録により、大学からのお知らせの受信や、万が一の際で自身でのパスワード再設定が可能になり、利便性と安全性が向上します。
- ・多要素認証(MFA)の導入(2027年3月2日): パスワードに加え、スマートフォンの顔認証・指紋認証などを利用して本人確認を行う簡単な仕組みです。第三者による不正利用を強力に防ぎます。

詳細なスケジュールや設定手順は、下記の特設サイトをご確認ください。



URL <https://sites.google.com/keio.jp/keiojp-manual-gr-jp>

学費に関するお知らせ

今年度より、次年度学費(案)は10月中旬頃、K-Support(学生)あるいはkeio.jp(学部生保証人)を通じてメールでお知らせします。

2026年秋季企画展 諭吉と熊楠—未完の二人—

「日本人の可能性の極限」とも呼ばれた南方熊楠と、近代日本を代表する思想家・教育者である福澤諭吉の両者は、直接の接点はほぼありませんでした。しかし熊楠は、在野を貫き、無位無冠として生きた諭吉を意識していたことが知られています。また諭吉や慶應義塾の和歌山人脈は、熊楠に影響を与えた周囲の人々と幅広く豊かに重なりあっています。本展では、それぞれに興味深く膨大な研究蓄積のあるこの二人の智の探求に対する姿勢、人間や自然、国家やアジア、世界への眼差し、さらにはその個性的なキャラクターなどを比較することで、二人の重なりや違い、目指していたことをあらためて描き直すを試みます。



南方熊楠頭影館蔵

会期 2026年10月15日(木)～12月12日(土)
[日祝日は休館]
特別開館日 11月22日(日)、11月23日(月)
臨時休館日 10月28日(水)、11月24日(火)、
11月25日(水)

会場 福澤諭吉記念 慶應義塾史展示館企画展示室
(図書館旧館2階)

詳細 URL https://history.keio.ac.jp/?page_id=4979



問い合わせ先 福澤諭吉記念 慶應義塾史展示館
電話: 03-5427-1200
E-mail: info@history.keio.ac.jp